

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678600125
法 人 名	社会福祉法人 潤生会
事 業 所 名	グループホーム ひまわり
所 在 地	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋瀬久井西8番地3 (電 話) 0997-73- 1311
自己評価作成日	2019年2月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームひまわりは、古仁屋市街地から東方の山裾の一角に建ち
楕円形ドームの変わり型建物で、側には大きな母体施設が建っています
部屋には洗面所、トイレが設置されホールは食堂と活動の場が一つになっ
ております。
入浴は週に3回実施、希望や状況に応じいつでもお風呂を使って貰える
体制にあります。
お風呂のない午前中は、平行棒を使った運動を常に取り入れ職員と利用者
の大きな声が響いております。
お食事は母体施設の栄養士の立てた献立で、ひまわり職員の手作り食事を
食べてもらっております。御家族や近所の方から野菜やミカンをいただく
事もあります。四季の野菜を植えたりネギや三つ葉は常に彩りに使ってお
ります。
週1回の道路美化活動は利用者職員が一緒になって道路の清掃作業、近隣
の方達と語らいの場として活動しております。私達は御家族、利用者の皆
さんが安心して生活できる様頑張って行きたいと思います。
季節感を表し幸せを運んでくれる野鳥のさえずりはさわやかです

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 毎日、理念に沿って利用者の満足感の支援を心掛けている。
- 地域の小学校に出向き子供110番の家を紹介しながら、七夕かざり作成の時は小学生や幼児も手伝いに来て利用者と一緒に楽しんで作っている。
- 個々の利用者の故郷巡りを母体施設のバスで実施しており、事業所のクリスマス会の時は友達や家族、隣近所の知人たちも招待している。
- 利用者の誕生会の時は豪華な食事を提供しており、利用者が誕生日の食事を楽しめるよう工夫している。
- 利用者全員の室内にトイレが設置されており夜間帯はベッドを動かしてトイレに近づける工夫を行うなど排泄の自立に向けた支援を行っている。
- 利用者は事業所内の周囲を散歩したり、散歩道に草が生えているとそれを取り除いたりして、利用者の自由な行動を見守り、支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼では、事業者独自のサービスの質のあり方を話し合い実践に繋げるようにしています	毎日朝礼で事業所の理念を唱和し、担当者が職場の教養を朗読し一日の目標を決め、管理者と職員は理念を共有し実践に繋げている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らしつづけられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体施設を中心とした夏祭り、運動会は今では地域の行事一巻となっている。事業所も子供110番を掲げ、年一回は地域の子供や父兄を招き、利用者と七夕づくり等で交流をつづけている。	母体施設と一緒に地域の夏祭りや運動会に参加している。七夕飾りは地域の親子に呼びかけ、一緒に作成している。中学生の体験学習を受け入れている。日曜日の地域の清掃作業に参加したり、子供110番の家を掲げている。近隣の方からの野菜や菓子の差し入れもあり、地域の一員として日常的に交流している。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所の実践力を活かし認知症の方を率先して受け入れが出来る様にして居ます	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議で取り上げられた問題事項について経過報告し、アドバイスを受けながら今後のサービス向上に活かしています	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、事業所の問題を提起しアドバイスを得ている。医療関係を含む協力で解決するなどサービスの向上に活かしている。外部評価の結果報告もしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎月有るケア会議に職員は出席情報を交換、認定更新時担当の職員へその暮らしづくりやニーズを伝え協力関係を築いて行く様にしています	事業所内での様々な課題の解決に向けて町役場職員に相談したり、認定更新時に状況などを報告し、協力関係ができている。ケア会議にも職員が参加し情報交換している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	高齢者の身体拘束の勉強会を母体施設で持たれ車椅子の固定、四点柵の使い方、壁側に寄せたベッドの設置、これはと思う事が拘束に繋がっていることを学び参加出来なかつた方には事業所会議で知らしています	身体拘束に関する研修会は母体施設で年4回あり交代で参加している。事業所でも身体拘束をしないケアのマニュアルを基に、勉強会を実施している。身体拘束に対し疑問に思う事など職員間で検討し取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせずに、戸外に出かける利用者へは職員が付き添っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	母体施設合同での勉強会で虐待防止について学ぶ機会を常にもうけ事業者内で見過ごされる事が無いよう注意を払って居ます		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護専門員を招きを2/27勉強会を予定している。知識を高め活用できるよう支援していきたいと思います。成年後見制度を活用している利用者も居ます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間を掛けて説明をする様にして居ます。特に利用料金については丁寧に分かり安くする様に心がけております。入退院の事も詳しく説明をする様にして居ます		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会の後にクリスマス会を設け職員と一緒にテーブルを囲む時間を設定、家族の思い、ひまわりでの過ごしかた等を話す機会を作り運営に反映しています	本人からは日々の支援の中で思いを聞いている。家族からは家族会やクリスマス会に参加して貰い、家族の思いが言えるような雰囲気作りをしている。意見や要望は検討して運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者は常に事業所に来て職員と会話を楽しんで居る、意見や提案は管理者を通してミーティングや職員会にて職員に通達する様に成っています	職員は意欲的に意見を出している。手洗い場の設置、野菜を育てる、花の植え替え、利用者と一緒に作る作品について等、職員の意見を反映している。職員の休日依頼等、職員間で話し合って決めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は常に職場に来て気づいた事を話し雰囲気を和らげてくれます。職員が安心して働ける環境作りに努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は資格を持つ事の大ささを常に伝えています。事業所館内で開催される研修会には多くの職員が参加出来る様時間帯にも考慮してくれます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流の場は大事な事と思っているがシフト面で中々取り組みが難しい現状、職員間で他施設の技術を要する職員の指導を受け質の向上を図っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今迄の生活暦、本人の思い、心身の状況を聞きとりどのような生活を望んで居るか、に努めるようになっています		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とも面談し困っていること、不安なこと等を聞き、安心して預けて頂けるよう誠意有る対応を心がけています		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず必要としている支援に関してサービスを行う援助方針を理解しやすい様、丁寧に説明する様努めています		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	役割を持って頂き何かの役に立っている事が伝わる様に感謝の気持ちを忘れず接するようしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	やって頂いている事、活躍して居ること、又大事な一員で有る事が伝わるように、感謝の気持ちを忘れず接する様にして居ます		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の面会や知人の面会、故郷巡り、行き付けの理美容院等これまでの生活が続けていける様努めて居ます。クリスマス会時に招待し一緒に楽しい時間を過ごす事が出来る様努めています	本人の馴染みの美容室や買物に出かけたり、友達に電話や会いに行ったりしている。事業所のクリスマス会の時は友達や家族、知人たちも招待している。お盆や正月の時は自宅に帰ったり、利用者の故郷巡りを専用のバスで実施しており、利用者の楽しみになっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食卓は気の合う同士隣接し、お互い話しが出来る様に支援して居る。又職員も同席して孤立の無いように努めています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	治療のため退所した利用者や家族の関係がいつまでも続く様、良く成ったらひまわりに戻って貰える様に言葉を添えて居る。急変し亡く成られた家族と良い関係が続けていける様努めて居ます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>安心してひまわりで生活して頂けるよう努め、意思疎通が困難な利用者には現状の問題点や家族からの意向を聞き希望に添うよう努めています</p>	<p>日常での会話や入浴の支援時に利用者の思いがけない言葉を聞く時があり申し送りノートに記録している。家族からも聞き取りを行い思いや意向の把握に努めている。家族や友人の面会も多く電話で聞くこともある。利用者の誕生日に本人好みの食を聞いて誕生会を祝っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>既往歴、生活暦、生活習慣を把握しながら、これまでの本人の生活が安心して継続出来る様支援しています</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>身体状況を把握し本人のペースに合わせた生活が送れるよう支援しています</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>どのような生活を望みか本人や家族、接している職員と話し合ったり、又医療機関とも連携し計画作成に努めて居る</p>	<p>介護計画を作成する時に利用者や家族の希望や要望などを聞き取り、介護計画を作成している。モニタリングを1ヶ月に1回行って、身体の状況に合わせてその都度介護計画も変更し、現状に即したものになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録他にもバイタル、食事、水分摂取、排泄、服薬状況が一目で分かるシートを活用、気に成る事があれば申し送りで対応出来て居る。介護計画の見直しにも活かす事が出来る		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状態変化が観られた時は昼夜を問わず医療受診で対応、掛かりつけ医との連携を取り、早めの対応を取っている。家族に不幸が起きたときは家族の責任のもと対応して居る		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	「子供110ばん」を掲げ子供達、地域の方が気軽に立ち寄れる場所としている。美化作業時は通りがかりや近隣の方達との話しの場で盛り上がっている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は家族と本人の要望を主としている。訪問診察を受けている利用者、職員の付き添いで受診している利用者は手紙で結果報告をしています	本人や家族の希望するかかりつけ医を受診している。訪問診療を受けている。受診に家族が行けないときには事業所で対応し結果は家族に報告している。適切な医療が受けられるように医療機関と連携を取っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中で得られた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調に変化が見えたときは母体施設看護師の協力があり、処置のアドバイスをうけている。訪問看護師に置いても気に成る事を相談、早期対応に心がけています			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でできるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供書提出、早期退院を望む事を伝えている、退院時はカンファレンスを持ち情報交換、援助計画に取り組んでいます			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所できることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	申込時に重度化や終末期の説明はしています、重度化に成る予想が想定されたときは早い段階で医師から家族に説明をしている。終末ケアの対応は今後もあるものとして取り組んでいます	入居時に重度化や終末期に向けた説明をしている。利用者の状態に応じて主治医から家族に説明している。看取りケアも家族や医療との連携で行っている。看取りケアの事例がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	AEDは母体施設に備えあり、使用方法を救急専門員から指導をうけている。継続して学ぶ時間を作つて行きたい		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	台風24号接近にて天井の窓が飛ばされ、夜勤職員の判断で急遽母体施設に避難を体験した、11月1日再度職員で避難経路を確認する為避難訓練を実施した	年2回、台風時の災害避難訓練を母体施設と一緒に実施している。以前の台風で母体施設に避難した体験を教訓に独自の避難訓練を行い避難経路など再確認している。1回は消防署の指導を受けている。もう1回は職員のみで行っている。スプリンクラーも設置している。備蓄として水・缶詰・ラーメン・おにぎり等の食料品を3~4日分用意している。オムツや毛布などもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>本人の気持ちを大切に言葉掛けや援助にもプライバシーを損ね無い対応を心がけて居ます。特に排泄時の対応など利用者が安心して暮らせるケアを目指しています</p>	<p>個々の人格の尊重とプライバシーの確保についてのマニュアルがあり、研修会を母体施設で年1回、事業所で1回実施している。支援日誌に記録の際の配慮も検討している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>一人ひとりの状態にあわせ本人が応え表現が出来る様見守っています</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日課にこだわらずペースに合わせたすごし方を支援しています</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>着替えはあくまでも本人に任せております。今日はこの服が着たい、良いかなと相談もあり、アドバイスをしたり決定をする事もある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	母体施設栄養士の献立により食事を作っております、寒い時や暑い時は利用者の要望によって変更もあります。元気な方は自分で配膳下膳、テーブル拭きも手伝ってくれます	野菜の下揃えや台拭き、食器洗い、下膳など個々の状況に応じ職員と一緒に行っている。おやつ作りやケーキ、果物の盛り付け、お好み焼き作りなども職員と共に作っている。花見時期には公園で食事を楽しむ支援をしている。利用者の誕生会には希望を聞き食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事に変化をもたせ美味しい食べて貰える様盛りつけにも気をつけ、水分もおやつによって摂取量が異なります		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは利用者にうるさがられ程声掛け致しております。寝る前に義歯を預かり洗浄液につけ起床時填めております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄リズムを把握し、あくまでもトイレで排泄することを主にしています。日中は布パンツ、夜間はリハビリパンツを使い自立に向けてトイレ排泄を支援しております	個々の排泄パターンから利用者の動きを見てトイレ誘導をしている。利用者全員の室内にトイレが設置しており、利用者は日中は綿パンツで過ごしている。夜間帯はベットを動かしてトイレに近づける工夫をするなど、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄ペタン表を使用、効果のある食べ物飲み物を探し提供。日常生活の中で少しでも身体を動かす機会を増やして行く様試みています			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	(月・水・金) 週3回の入浴を実施、個浴入浴対応にてリラックスの時間を要し、残存能力を生かした支援に心がけています、希望に応じいつでも入浴出来る様にしています	一番風呂や早い時間の入浴を希望する利用者の思いを叶えている。入浴時にリラックス効果で思いがけない言葉が聞けたり、入浴剤を入れて色と香りを楽しめる様に支援している。入浴拒否の利用者も時間を置いて声をかけてみると入浴ができる場合もある。入浴後におやつを準備している事を話すなど会話を工夫し入浴を楽しめる様に支援している。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室の為個々の習慣に合わせ昼食後の午睡、又入床時間も一人ひとり異なっております			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの既往症を把握し特変が出た際は主治医と連携を取り対応する様努めて居ます			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日中や午後の余暇活動を利用しぬり絵、はり絵、ちぎり絵、工作などで楽しみを見いだして頂くように支援して居ます		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩買い物などの希望があれば都度対応し、気分転換を図る様にしています。故郷巡りでお墓参りもしてきました。母体施設の故郷巡りに便乗久しぶりにお墓参りが出来、知人達と話しが出来たと喜ぶ利用者の笑顔が浮かびます	各居室から園庭に出る事ができるので散歩や花壇の草取りなど日常的に外出ができている。事業所内の周辺を散歩したり、職員と一緒に出かけたりしている。弁当持参で遠足に行ったり、故郷巡りでお墓参りや家族に逢いに出かけている。日曜日毎に集落の掃除や買物に職員と一緒に出掛けている。利用者の自由な行動を抑制せずに見守り体制の支援を行っている。家族の協力を得て外出支援ができる	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金の中から自分で支払う事が出来るように手渡しています。金銭の所持については家族に任せています。相談が有るときは預かり月事に報告しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎月のお手紙で生活状況をお知らせ致して降りますが、電話で家族の声を聞く事で安心した生活が出来て居る利用者もいます特にインフルエンザ予防期間中は状況報告に努めて降ります			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋は洗面とトイレが設置されています、「良い施設は臭いを出さない」代表者の言葉に有るように使う方の身になり臭気対策は徹底しております。ホールは食事の場、運動する、レクを楽しむ集いの場として温度湿度には特に気を配っております	ホール内は明るく広々として温度・湿度が調整されている。平行棒を利用して自力での歩行訓練を行ったり上半身の曲げ伸ばし、膝の屈伸運動を他の利用者と一緒に楽しんでいる。食後のテーブル拭きを職員と一緒にを行う利用者もいる。壁には季節を感じさせる節分の鬼のぬり絵やひな人形のぬり絵、各行事での写真が掲示され、居心地よく過ごせるような工夫がされています。		
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビを見る、居眠りをする、庭の散歩に行く等自分の思うままに生活が出来る様職員はみまもっています			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレ洗面所が部屋に設置され夜間はベッドをトイレに近づけて設置、移動距離を小さくして使用しています。自立を目指し着替えや入浴の準備がスムースに出来る様支援しています	居室はトイレや洗面台が設置されている。洋服ダンスや家族の写真を自宅から持ち込んだり、水神様に花を活けて手を合わせたり、位牌に毎朝、拝んだりしている。温度計や加湿機が設置され、居心地よく生活できるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	庭や畑には自由に行き来ができるよう見守っています。草むしり、花の水やり、野菜の収穫など自由に行い、摘むには早い野菜の収穫も観られる		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない